

第2 令和6年度事業報告

1 第56回（令和6年度）総会概要

日 時： 令和6年6月19日（水）13:00～15:30

方 法： Zoom によるオンライン開催

出 席： 87 大学 （入会申込大学 1 大学含む）

※Zoom の上限のため、退室協力をお願いしており、出席人数は記載しません。）

欠 席： 12 大学（委任状の提出有り）

（次第）

（1）会長挨拶

福島県立医科大学大学附属学術情報センター長 松岡 有樹

（2）講演

以下の演題でご講演いただいた。

- ・「大学図書館に関する最近の動向」

文部科学省研究振興局 参事官（情報担当）付学術基盤整備室

大学図書館主任 影山 啓太 氏

- ・「公立大学の現状と課題に関して」

一般社団法人公立大学協会 事務局長 中田 晃 氏

（3）議事

会長（松岡有樹福島県立医科大学大学附属学術情報センター長）を議長に選出（会則第13条により）議長から、出席状況及び会員総数の過半数を超える出席があるため、当総会は議事を開き議決することができること、議決の際は出席会員の過半数をもって行うが、事前に欠席の申し出のあった全館より委任状が提出されており、いずれも議長に委任されていることが報告された。

[報告事項]

①令和5年度事業報告

前会長館（神戸市外国語大学）から報告資料の会報第55号に基づき、第55回（令和5年度）総会概要及び、拡大役員会と改革実施小委員会の主な審議結果について報告があった。

②HP委員会報告

HP委員会委員長（大阪公立大学）から主な活動報告として、ホームページサーバー管理委託先の変更、加盟館概要の変更による検討を行ったことについて報告があった。

③地区活動報告

報告資料の会報第 55 号の地区活動報告の記載をもって報告に代えることで了承された。なお、補足や追加報告を行う地区はなかった。

④関係委員会等報告

報告資料の会報第 55 号の関係委員会等報告の記載をもって報告に代えることで了承された。なお、補足や追加報告はなかった。

⑤加盟館概要の見直しについて

会長館から資料により、令和 4 年度のアンケート調査結果から、改革実施小委員会で検討を行い、拡大役員会での審議を経て、「加盟館一覧」は公開ページに「会員名簿」会員限定ページにそれぞれ掲載すること、概要部分は加盟館ごとでなく、Excel 形式とすることとなった。

また、調査についても、概要部分は毎年調査とはせず、サービス活動のみ毎年調査することとし、今年も例年のとおり調査を実施することを報告した。

続いてホームページ委員会より、具体的なホームページの掲載箇所の補足説明があった。

[協議事項]

①公立大学協会図書館協議会入会大学について

会長館から東北農林専門職大学の入会申込について説明があり、入会が承認された。承認後、東北農林専門職大学附属図書館長より挨拶があった。

②役員の選出について

会長館から資料により、今年度及び来年度以降の役員の案について説明があり、原案のとおり承認された。概要は以下のとおり。

- ・令和 7 年度については中国・四国地区の岡山県立大学で内定しており、令和 8 年度については関東・甲信越地区の高崎経済大学を内定した。
- ・総会開催館については、令和 7 年度は会長館の岡山県立大学が担当する予定。

③関係委員会委員等の推薦について

会長館から資料により説明があり、原案のとおり承認された。説明の概要は以下のとおり。

- ・今年度新たにお引き受けいただいたのは「国公立大学図書館協力委員会「大学図書館研究」編集委員会」を静岡県立大学、「これからの学術情報システム構築検討委員会」を、神戸市外国語大学、オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)を神戸市外国語大学と、石川県立看護大学が担当することになった。
- ・来年度の委員については、役員の協力を得ながら会長館が調整を行う。

④令和 5 年度決算報告

前会長館(神戸市外国語大学)から資料により決算報告が行われ、原案のとおり承認

された。

⑤令和5年度監査報告

前監査館（公立小松大学）から資料により監査報告が行われ、原案のとおり承認された。

⑥令和6年度事業計画（案）について

会長館から資料により、1) 委員会等活動、3) 渉外活動、5) 出版について報告した、また、4) 地区活動について、各地区協議会代表館からの資料記載の補足は特になく、原案のとおり承認された。2) 研修活動については、協議事項⑩で別途取り扱うこととした。

⑦令和6年度予算（案）について

⑧公立大学協会図書館協議会会則の一部変更について

令和6年度予算（案）と会則の一部変更については関連があるため、一括で審議が行われた。会長館から資料により以下のとおり説明があり、原案のとおり承認された。

【会則の変更（会費を徴収しない）】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大による支出の縮小が見込まれたこと及び繰越金問題の協議を行ってきた経緯を鑑みて、令和2年度から令和5年度は、会則の附則に追加記載する形で会費を徴収しなかった。
- ・本年度も繰越金削減を促進するため、前年度までと同様に附則に追加記載することで会費徴収を行わないことを提案する。
- ・規定については、前年度同様附則に追加記載する。

【予算（案）】

- ・予算（案）は、会費を徴収しないことを前提で作成したものを提案。
- ・収入は、会費収入が0円、前年度繰越金、雑収入を合わせて1,914,293円を計上。
- ・支出は、事業費1,300,000円、事務費を60,000円、計1,360,000円を一般経費としている。総会、役員会のオンライン開催に伴い、会議費、報償費は0円に、研修費に300,000円、負担金に600,000円、諸活動費を400,000円とし、収入合計額から一般経費を除いた554,293円を予備費としている。

⑨公立大学図書館協議会の名称変更について

会長館から資料により説明があり、原案のとおり承認された。概要は以下のとおり。

- ・新入会の際、公立大学協会への入会が必要かどうかというご意見が令和5年度第1回拡大役員会でだされた。現在の状況について公立大学協会に確認し、名称変更について異議は無い事が確認されたため、名称を変更することについて令和5年度第2回拡大役員会で提案され承認された。
- ・令和7年度から名称は「公立大学図書館協会」に変更することを提案する。

・会則ほか諸規定は、今年度検討とし、関係委員会等へは通知文をお出しするが、派遣委員の皆さまには今年度それぞれの委員会へ機会がありましたら、事前に周知いただきたい。

⑩大学図書館職員長期研修および短期研修への派遣について

会長館から資料により、京都大学で開催される短期研修（対面実施）の概要と、受講希望のあった2大学（札幌医科大学、北九州市立大学）の説明があり、各大学所属職員への補助金の支給が承認された。

(4) その他

次期会長館挨拶

岡山県立大学 附属図書館長 高橋 吉孝氏

※挨拶の中で、令和7年度の総会は電子メールによる書面審議で開催したいとの意向が示された。

以上で、第56回令和6年度公立大学協会図書館協議会総会を終了した。

2 会議及び各種委員会等活動

I. 公立大学協会図書館協議会令和6年度役員会（福島県立医科大学）

1 第1回拡大役員会

日 時：令和6年5月15日（水） 午後1時30分～午後3時30分

開催方法：オンライン会議（Zoom）

出 席：22大学（27名） 内、役員館12大学

欠 席：4大学 内、役員館1大学

（次 第）

【報告事項】

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| ① 令和5年度事業報告 | 【前会長館：神戸市外国語大学】 |
| ② HP委員会報告 | 【大阪公立大学】 |
| ③ 地区協議会活動報告 | 【各地区協議会代表館】 |
| ④ 関係委員会等報告 | 【各関係委員会委員】 |
| ⑤ 56回（令和6年度）総会の開催について | 【会長館】 |
| ⑥ 加盟館概要の見直しについて | 【会長館】 |
| ⑦ その他 | |

【協議事項】

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| ① 公立大学協会図書館協議会入会大学について | 【会長館】 |
| ② 役員を選出について | 【会長館】 |
| ③ 関係委員会委員等の推薦について | 【会長館】 |
| ④ 令和5年度決算報告及び監査報告 | 【前会長館：神戸市外国語大学】 |
| ⑤ 令和6年度事業計画（案）について | 【会長館】 |
| ⑥ 令和6年度予算（案）について | 【会長館】 |
| ⑦ 公立大学協会図書館協議会会則の一部変更について | 【会長館】 |
| ⑧ 公立大学協会図書館協議会の名称変更について | 【会長館】 |
| ⑨ 大学図書館職員短期研修への派遣について | 【会長館】 |
| ⑩ その他 | |

2 第2回拡大役員会

日 時： 令和6年12月20日（金） 午前10時～午後12時

開催方法： オンライン会議（Zoom）

出 席： 20大学（31名） 内、役員館13大学

欠 席： 3大学

（次 第）

【報告事項】

- ①令和6年度事業報告（総会以降） 【会長館】
- ②HP委員会報告 【委員長館：大阪公立大学】
- ③地区協議会活動報告 【各地区協議会代表】
- ④関係委員会等報告 【各関係委員会委員】
- ⑤加盟館概要調査の状況について 【会長館】
- ⑥第57回（令和7年度）総会等について 【次期会長館】

【協議事項】

- ①令和7年度以降の役員の選出について 【会長館】
- ②関係委員会委員等の推薦について 【会長館】
- ③名称変更に伴う公立大学協会図書館協議会会則ほか諸規定の一部変更について 【会長館】
- ④令和7年度以降の会費徴収額について 【会長館、次期会長館】
- ⑤その他

※協議事項②の「関係委員会委員等の推薦について」は、「国公立大学図書館協力委員会著作権検討委員会」「これからの学術情報システム検討委員会」が未定のため、決まり次第メール審議でお諮りすることとした。

※協議事項③の「名称変更に伴う公立大学協会図書館協議会会則ほか諸規定の一部変更について」主な修正について説明し、1月10日（金）までに確認いただき、2月頃、全加盟館に変更案を周知し、総会で承認を得られれば、4月に遡って施行とすることとした。

※協議事項④の「令和7年度以降の会費徴収額については、状況がまだ不安定な部分があるため、再度5年間は、会費額を上限25,000円以内とし、次期開催方法等の状況を鑑みて毎年附則で決めることを提案した。会費上限の25,000円の場合は収入245万となり、総会が集合開催でも賄える見込みである。

なお、令和7年度については、次期会長館より書面開催の予定が示されていることから、会費を15,000円で試算した。

II. HP委員会（大阪公立大学）

1 委員館

委員長館（ホームページ管理）：大阪公立大学

委員館：東京都立大学、横浜市立大学、名古屋市立大学

2 概要

(1)活動状況

令和7年4月の組織の改称に向けて、令和7年2月19日～27日のメール会議において、ホームページの修正箇所の確認を行った。

(2)主な更新内容

2024/04/18 会長就任挨拶

2024/09/04 会報 第55号（令和5年度）

2024/09/04 第1回拡大役員会および第56回総会の開催

2024/09/04 【加盟館限定】会員名簿の更新、加盟館一覧の更新

2025/02/07 会員名簿・各館概要・各館サービス活動掲載箇所の修正

(3)統計

Google Analytics 4による集計

期 間	2024/1/1-2024/12/31	(前年 2023/1/1-2023/12/31)
訪 問 数	4,232 件	(4,555 件)
ページビュー	13,520 ページ	(15,655 ページ)
訪問時の平均滞在時間	3 分 19 秒	(3 分 34 秒)
訪問時平均閲覧ページ数	2.16 ページ	(2.49 ページ)

Ⅲ. 関係委員会

ア 国公立大学図書館協力委員会【横浜市立大学】

1 構成

(1) 委員長館

令和5年度 早稲田大学（令和5年8月1日～令和6年7月31日）

令和6年度 筑波大学（令和6年8月1日～令和7年7月31日）

(2) 委員館（*は常任幹事館）

- ・ 国立大学 *東京大学、*筑波大学、京都大学、名古屋大学
- ・ 公立大学 東京都立大学、*横浜市立大学、*大阪公立大学
- ・ 私立大学 *早稲田大学、*慶應義塾大学、明治学院大学、帝京大学、中部大学、西南学院大学

2 会議

(1) 協力委員会

① 第96回国公立大学図書館協力委員会

日 時：令和6年7月24日（水）15時～16時40分

開催方法：オンライン（Zoom）

議 事：

[報告事項]

- ・ 会務報告

[協議事項]

- ・ 専門委員会主査について
大学図書館研究編集委員会の主査の交代が承認された。
- ・ 専門委員会の開催に関する旅費支給の運用について
専門委員会の開催にあたっては、専門委員への旅費支給を各専門委員会予算より支給する運用を、試行的に行うことが承認された。
- ・ 次期委員長館の選出について
令和6年度委員長館は筑波大学に決定した。

[懇談事項]

- ・ 国立国会図書館との懇談について（提案）
コンテンツのデジタル化等、今後の国立国会図書館と大学図書館との連携にあたり、懇談会の開催方法やあり方について意見交換を行った。
- ・ 早慶和書電子化推進コンソーシアム」の活動について
慶應義塾大学、早稲田大学の報告があり、意見交換を行った。

② 第97回国公立大学図書館協力委員会

日 時：令和6年12月11日（水）13時30分～14時30分

開催方法：オンライン（Zoom）

議 事：

[報告事項]

- ・会務報告

[協議事項]

- ・2023年度決算（案）および監査報告について
決算及び監査報告が原案どおり承認された。
- ・2024年度予算（案）について
予算案が原案のとおり承認された。
- ・監事館の選出について
委員館から東京都立大学、委員館以外から茨城大学が推薦され、承認された。

(2) 常任幹事会・常任幹事館担当者打ち合わせ

①2023年度第2回常任幹事館担当者打ち合わせ

日 時：令和6年6月17日（月）13時～14時

開催方法：オンライン（Zoom）

議 事：

- ・第96回国公立大学図書館協力委員会の開催について
- ・専門委員会会計監査について
- ・専門委員会の活動に対する旅費支給の運用について

②2023年度第2回常任幹事会

日 時：令和6年7月24日（水）13時30分～13時50分

開催方法：オンライン（Zoom）

議 事：

- ・第96回国公立大学図書館協力委員会の議事進行について

③2024年度第1回常任幹事館担当者打ち合わせ

日 時：令和6年11月8日（金）14時～14時30分

開催方法：オンライン（Zoom）

議 事：

- ・第97回国公立大学図書館協力委員会の開催について
- ・令和6年度国立国会図書館長と大学図書館長の懇談会について
- ・2023年度決算報告及び監査報告書（案）について
- ・2024年度予算案について
- ・2024年度監事館候補について
- ・2024年度大学図書館シンポジウムについて

④2024年度第1回常任幹事会

日 時：令和6年12月11日（水）11時～11時20分

開催方法：オンライン（Zoom）

議 事：

- ・第97回国公立大学図書館協力委員会の議事進行について

(3) 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

①第28回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

日 時：令和6年7月11日（木）14時～16時

開催方法：オンライン（CISCO Webex）

議 事：

[報告・協議事項]

- ・大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）の活動について
- ・これからの学術情報システム構築検討委員会の活動について
- ・オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）の活動について
- ・国立情報学研究所の学術コンテンツ事業について
- ・国公立大学図書館協力委員会の最近の動向について
- ・即時オープンアクセス義務化への対応に係る意見交換

②第29回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

日 時：令和7年2月12日（火）15時～17時

開催方法：オンライン（CISCO Webex）

議 事：

[報告・協議事項]

- ・これからの学術情報システム構築検討委員会の活動について
- ・大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）の活動について
- ・オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）の活動について
- ・国立情報学研究所の学術コンテンツ事業について
- ・国公立大学図書館協力委員会の最近の動向について
- ・即時オープンアクセス義務化への対応に係る意見交換

(4) 国立国会図書館関係

①令和6年度国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会

日 時：令和6年12月11日（水）16時～17時13分

開催方法：オンライン（Zoom）

議 事：

[大学図書館報告]

- ・「大学におけるデジタル・ライブラリー—新時代の教育研究のために—」
（東京大学副学長・附属図書館長 坂井 修一氏）

[国立国会図書館報告]

- ・デジタル情報へのアクセスに係る国立国会図書館の取組と課題
（国立国会図書館利用者サービス部長 大場 利康氏）

イ 国公立大学図書館協力委員会大学図書館著作権検討委員会【愛知県立大学】

1 構成

主査	鈴木 努	(早稲田大)
副主査	佐藤 康之	(慶應義塾大)
委員	斎藤 未夏	(筑波大)
委員	首東 誠	(大分大)
委員	高木 晃子	(千葉大)
委員	中村 恭子	(東京大)
委員	阪野 康弘	(愛知県立大)
委員	弥栄 和彦	(北九州市立大)
委員	村井 麻衣子	(筑波大)

2 改正著作権法(2021年6月2日公布)「図書館関係の権利制限規定の見直し」関連

(1) 国立国会図書館による絶版等資料のインターネット送信に関する対応

資料デジタル化及び利用に係る関係者協議会への参加(7/31、2/14)

(2) 図書館等による図書館資料のメール送信等に関する対応

・図書館等公衆送信サービス関係者協議会への参加

ガイドライン分科会(6/7)

・図書館公衆送信打合せ(図書館関係団体間の定例打合せ)への参加

(5/15、6/4、6/19、7/24、8/21、2/19)

・会員館・加盟館に対する講演・周知等

大学図書館職員短期研修に講師派遣(10/24)

第110回全国図書館大会長崎大会に講師派遣(事前に動画撮影し会期中配信)

3 著作権最新動向調査

委員の分担により以下の会議をオンラインで傍聴しメモを共有。

・文化審議会著作権分科会(5/13、12/17、3/24)

・文化審議会著作権分科会政策小委員会(5/20、7/31、10/21、1/20、3/3、3/18)

4 委員会等の開催

(1) 第1回大学図書館著作権検討委員会

日時： 2024年6月27日(木) 午後3時30分から午後5時まで

場所： オンライン (Zoom)

内容： 2023年度活動及び会計報告、2024年度活動計画及び予算案など

(2) 2024年度臨時会議

日時： 2024年12月10日(火) 午前11時から正午まで

場所： 早稲田大学中央図書館1階研修室

内容： 次期委員会の体制など

(3) オンラインミーティング

改正著作権法への対応等に関する情報共有・意見交換のため、原則月 1 回のオンラインミーティングを実施(4/11、5/9、6/6、7/25、9/5、10/3、11/7、12/5、1/9、3/6)

5 大学図書館シンポジウムの開催

国公立大学図書館協力委員会シンポジウム企画・運営委員会との共催によりオンラインにて開催。

日時： 2024 年 12 月 10 日(火) 13:30～16:30

テーマ： 2030「デジタルライブラリー」の実現に向けた取り組み

6 その他

(1) 「大学図書館における著作権問題Q&A」第 10 版の刊行

2025 年 2 月 3 日「大学図書館における著作権問題Q&A」第 10 版を刊行

(2) 「大学図書館間協力における資料複製に関する合意書」の締結

一般社団法人学術著作権協会と大学図書館間協力における資料複製に関する合意書を年度内に締結予定

ウ 国公立大学図書館協力委員会「大学図書館研究」編集委員会【静岡県立大学】

1 委員名 (2025 年 2 月 28 日現在)

主 査	鈴木 雅子	(九州大学)		
事務局	中村 恭子	(東京大学)	田崎 淳子	(東京大学)
委員	若山 勇人	(筑波大学)	竹内 茉莉子	(千葉大学)
	田中 亜希子	(新潟大学)	若山 勇人	(筑波大学)
	武内 茉莉子	(千葉大学)	田中 亜希子	(新潟大学)
	佐藤 千春	(岡山大学)	河野 明子	(東京都立産業技術大学院大学)
	浅見 和高	(静岡県立大学)	新保 佳子	(慶應義塾大学)
	梅田 順一	(明治大学)	小川 渡	(早稲田大学)
	吉場 千絵	(神奈川大学)	村上 孝弘	(龍谷大学)
	伊藤 幸江	(関西学院大学)		
出版チーム	上野 耕平	(電気通信大学)	中村 智晴	(九州大学)
	伊藤 民雄	(実践女子大学・実践女子短期大学)		

2 活動状況

(1) 第 1 回委員会

日時：2024 年 6 月 10 日 (木) 10:00～12:00

会場：東京大学総合図書館 3 階中会議室並びに Zoom によるオンライン会議

内容：

【報告事項】

- ①2023 年度大学図書館研究編集委員会会計報告について
- ②2023 年度刊行状況について
- ③「大学図書館研究」の編集発行体制について
- ④編集及び査読作業について

【協議事項】

- ①J-STAGE Data の利用について
- ②投稿規程及び編集要領等の見直しについて
- ③第 126 号の編集作業の分担について
- ④2024 年度大学図書館研究編集委員会事業計画（案）について
- ⑤第 127 号以降の企画について

(2) 第 2 回委員会

日時：2024 年 10 月 23 日（水） 15：00～16：30

会場：Zoom によるオンライン会議

内容：

【報告事項】

2024 年度図書館総合展への出展について

【協議事項】

- ①図書館総合展での役割分担について
- ②J-STAGE Data 利用開始に係る規則類の改正及び環境整備について
- ③「大学図書館研究」掲載記事の種別について

(3) 第 3 回委員会

日時：2024 年 11 月 29 日（金） 14：00～16：00

場所：岡山大学附属図書館中央図書館並びに Zoom によるオンライン会議

内容：

【報告事項】

- ①国公立大学図書館協力委員会における活動報告について
- ②2024 年度進捗状況について

【協議事項】

- ①第 127 号の編集作業の分担について
- ②第 128 号以降の企画について
- ③PDF 作成指針改正に伴う作業変更について
- ④『大学図書館研究』全文 XML 化について
- ⑤J-STAGE 利用機関意向・満足度等アンケートへの回答について

エ 国公立大学図書館協力委員会シンポジウム企画・運営委員会【東京都立大学】

1 構成（2024年4月1日現在）

【シンポジウム企画・運営委員会委員】

主査 笹渕 洋子 早稲田大学図書館事務副部長兼総務課長兼

高田早苗記念研究図書館担当課長

武内八重子 筑波大学学術情報部アカデミックサポート課主幹（大塚図書館担当）

佐藤久美子 東京大学附属図書館総務課長

河野江津子 慶應義塾大学理工学メディアセンター事務長

安藤 和実 東京都立大学学術情報基盤センター事務室図書・学術情報係

【日本図書館協会大学図書館部会個人会員委員】

逸村 裕 元筑波大学図書館情報メディア系教授

上村 順一 琉球大学附属図書館情報サービス課長

小山 憲司 中央大学文学部教授

2 活動状況

第1回シンポジウム企画・運営委員会

日 時：2024年8月21日（水） 15:00-16:30

開催方法：Zoom

- ・開催方法については、昨年度同様Zoomウェビナーによるオンライン配信とした。
- ・テーマについて協議をおこなった。
- ・その後の日程調整等は、電子メールによる連絡・協議をおこなうこととした。

3 シンポジウム実施内容

昨年に引き続き、シンポジウム企画・運営委員会、大学図書館著作権検討委員会、日本図書館協会大学図書館部会の共催によるシンポジウムを開催した。当日は492名が参加した。

テーマ：2030「デジタル・ライブラリー」の実現に向けた取り組み

日 時：2024年12月10日（火） 13:30～16:00

開催方法：Zoomウェビナーによるオンライン配信

対 象：図書館関係者（国公立大学図書館協力委員会加盟館に限定しない）

プログラム：

(1)開会挨拶

国公立大学図書館協力委員会委員長館 筑波大学附属図書館 西尾チヅル館長

(2) 基調講演

オープンサイエンス時代にふさわしい「デジタル・ライブラリー」の実現に向けて
講演者：千葉大学 竹内比呂也氏（副学長、附属図書館長、
アカデミック・リンク・センター長、大学院人文科学研究院教授）

(3) 事例報告 1 オープンアクセスの推進について

① 研究 DX としてのオープンアクセスの推進 ～横浜国立大学の取組み～

報告者：横浜国立大学 松浦かなな氏（研究推進機構特任教員（助教）・URA）

② 神奈川大学のオープンアクセス支援 ～世界へ、そして未来へ～

報告者：神奈川大学 小池孝昌氏（研究推進部研究推進課）

「国立国会図書館におけるデジタル化資料提供の取組み」

講演者：松崎宏樹氏（国立国会図書館利用者サービス部

サービス企画課課長補佐）

(4) 事例報告 2 著作権・知的財産関連教育について

① 2030 「デジタル・ライブラリー」構想における著作権教育について

報告者：早稲田大学 鈴木努氏（図書館利用者支援課長、

国公立大学図書館協力委員会大学図書館著作権検討委員会主査）

② 山口大学知的財産センターの取組み

報告者：山口大学 小川明子氏（大学研究推進機構知的財産センター長、

国際総合科学部教授）

(5) 質疑・応答

(6) 閉会挨拶

小山憲司氏（日本図書館協会大学図書館部会個人会員委員、

中央大学文学部教授）

オ. 国公立大学図書館協力委員会 Web サイト運用チーム【東京都立大学】

1 構成（2024年11月1日現在）

主査 古賀理恵子 慶應義塾大学メディアセンター本部課長

小川夏代子 東京大学附属図書館総務課企画渉外チーム係長

瀧上じゅん 東京都立大学学術情報基盤センター事務室図書・学術情報係

長崎 晃一 明治学院大学図書館資料管理課主任

2 活動状況

(1) メンテナンス作業

・ 2024/05/13（月）18:00-23:00

julib.jp サーバのメンテナンス作業

・ 2024/06/25（火）18:00-19:00

SSL サーバ証明書更新（新有効期限：2025/07/08）

- (2) 主査の交代 (2024年8月1日付)
- 退任：加藤さつき (筑波大学学術情報部情報企画課長)
- 新任：木下 和彦 (慶應義塾大学メディアセンター本部総務担当課長) 8/1-
 古賀理恵子 (慶應義塾大学メディアセンター本部課長) 11/1-
- ・主査任期は、8月1日～翌7月31日
 - ・2025年度主査ローテーション予定は、国立 (筑波大学)
- (3) 国公立大学図書館協力委員会 Web サイトの各アカウントのパスワード変更 (2024年11月)
- (4) 国公立大学図書館協力委員会 Web サイトの「サイトポリシー」の内容修正
 サイト閲覧時のブラウザバージョンの推奨等、現状に合わせた内容に変更した。
- (5) 各委員会との相談・対応
- 「2024年度大学図書館シンポジウム」の講演資料及び動画について、大学図書館シンポジウム企画・運営委員会から相談があり、2025年1月22日より協力委員会 Web ページにおいて公開を開始した。
- (6) 次年度委託保守契約更新 (2025年3月)
- 2025年度の委託保守契約 (2025年4月から2026年3月のサーバ年間使用 (検証サーバ含む)、ドメイン年間利用、メールボックス利用、SSLサーバ証明書年間利用ならびに委託保守契約) の契約更新を確認した。

カ. 大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) 報告 【大阪公立大学】

- 1 会員館 (大学, 大学共同利用機関, 省庁大学校等の図書館) 562 館
 国立 86 館 公立 82 館 私立 378 館 その他 16 館 (2024年11月25日現在)
- 2 運営体制
 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議
 JUSTICE 運営委員会 委員 18 名 (会員館から選出)
 交渉作業部会・調査作業部会・広報作業部会 OA 推進作業部会
 委員 42 名 協力員 2 名 (会員館から選出)
 JUSTICE 事務局 専任職員 5 名 (会員館から出向) 実務研修生 1 名
- 3 会議開催状況
 - (1) 総会
 通常総会
 日時：2025年3月5日～12日 (オンライン会議システム)
 - (2) 運営委員会
 - ・第1回 2024年6月5日 (NII 及びオンライン会議)
 - ・第2回 2024年11月27日 (NII 及びオンライン会議)
 - ・第3回 2025年2月21日 (NII 及びオンライン会議)

・第4回 2025年3月17日（NII 及びオンライン会議）

(3) 活動内容

① 出版社交渉の実施

② 契約状況調査（2024年度）

実施期間 2024年6月24日～7月31日 調査対象 561館 回答館数 549館

③ 版元提案説明会の開催

日程：2024年9月5日、6日

場所：一橋大学一橋講堂中会議場

参加機関・参加者数：141館 243名、参加版元 25社

④ 提案準備説明会の開催

⑤ 0A への対応

⑥ 電子リソースのバックファイル・電子コレクション等の拡充

⑦ 電子リソースの管理システムの共同利用

⑧ 電子リソースの長期保存とアクセス保証

⑨ 研修会・勉強会の開催

JUSTICE 電子資料契約実務研修会

開催日：2024年7月12日

会場：オンライン開催

内容：

第一部 講演「電子資料の有効利用のために－

『電子資料契約実務必携』第2版の活用」

第二部 「電子リソースデータ共有サービスの活用について」

「契約実務質問会（初級編）」

参加者 417名

⑩ 会員向け広報誌『jusmine』の発行

No. 50～No. 53

⑪ 国際会議への派遣

・国際図書館コンソーシアム連合 ICOLC2024 年春季会合（米国）

2024年4月14日～17日

・17th Berlin Open Access Conference（独国）

2025年2月5日～6日

詳細は大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）ウェブサイト掲載の

『2024年度大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）活動報告』を参照のこと。

<https://contents.nii.ac.jp/justice/overview>

キ これからの学術情報システム構築検討委員会【神戸市外国語大学】

1 委員

委員長	小山 憲司	(中央大学)
委員	綾部 輝幸	(東京大学)
	次良丸 章	(名古屋大学)
	片岡 真	(国文学研究資料館)
	松本ゆかり	(札幌医科大学)
	河野 幸徳	(神戸市外国語大学)
	安達 匠	(國學院大学)
	飯野 勝則	(佛教大学)
	鹿田 昌司	(近畿大学)
	濱生 快彦	(関西大学)
	大向 一輝	(東京大学)
	塩崎 亮	(聖学院大学)
	児玉 闊	(大妻女子大学)
	福島 幸宏	(慶応義塾大学)
	吉田 幸苗	(国立情報学研究所)
	林 豊	(国立情報学研究所)

2 委員会開催状況

第40回委員会	2024年6月24日(月) オンライン開催
第41回委員会	2024年10月23日(水) ハイブリッド開催
第42回委員会	2025年1月24日(金) オンライン開催予定

3 活動内容

- (1)2024年5月24日に、電子リソースデータ共有サービス「タイトルリスト(JUSTICE)」を正式公開した。
- (2)2024年9月13日に、イベント「NACSIS-CAT・NCR2018 適用はじまる：コーディングマニュアル・目録情報の基準改訂説明会」を開催した。
- (3)2024年9月30日に、電子リソースデータ共有サービス「電子ブックメタデータ(国内)」を正式公開した。
- (4) NIIの学術情報基盤オープンフォーラムおよび図書館総合展において、委員会の活動内容や今後の方向性について講演した。

ク オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）【石川県立看護大学】

1 運営体制について

【2024 年度運営委員会委員】

石津 朋之	筑波大学	
片岡 朋子	お茶の水女子大学	
高橋菜奈子	新潟大学	
次良丸 章	名古屋大学	
杉田 茂樹	京都大学	【運営委員会委員 委員長】
野中 雄司	京都大学	
鈴木 雅子	九州大学	
山村 徹	石川県立看護大学	
折戸 晶子	明治大学	
佐藤 翔	同志社大学	
加川みどり	神戸松蔭女子学院大学	
林 正治	国立情報学研究所	
南山 泰之	国立情報学研究所	
吉田 幸苗	国立情報学研究所	

【監事】

東京海洋大学 前橋工科大学 （任期 2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日）
東京外国語大学 神戸市外国語大学（任期 2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日）

運営委員会の下で、各種事業（研修・広報等）の具体的な活動の中心となる組織（作業部会）があり、会員 関に所属する職員が、作業部会員となり、次の活動を行う。また、期間限定の事業を行うため、タスクフォースを設置して活動を行うこともある。

- ・コミュニティ・グループ：広報・普及作業部会、イベント運営作業部会
- ・コンテンツ・グループ：コンテンツ流通促進作業部会、研究データ作業部会
- ・システム・グループ：JAIRO Cloud 作業部会、システム開発・連携作業部会

2 オープンアクセスリポジトリ推進協会について

オープンアクセスリポジトリ推進協会は、リポジトリを通じた知の発信システムの構築を推進し、リポジトリコミュニティの強化と、我が国のオープンアクセス並びにオープンサイエンスに資することを目的として 2016 年 7 月に設立された。

【オープンアクセスリポジトリ推進協会の活動方針】

次の 3 点を重点活動項目として、多様な会員機関の協働により、会員機関のコンテンツの充実支援、システムの整備・運用や我が国におけるオープンアクセス及びオープンサイエンスの推進をはかっていく。

- ・ 会員機関相互の情報・ノウハウ共有の強化と人材育成 <コミュニティ>

- ・ 会員機関が公開するコンテンツの多様化と利活用 <コンテンツ>
- ・ リポジトリシステムの維持・発展の促進 <システム>

3 JPCOAR会員機関参加状況【2024年12月10日現在】

777 機関（公立大学 84 校含む）

4 会議開催状況

(1) 第 25 回運営委員会 2024 年 6 月 17 日（月）

- ①2023 年度総会追加議案の審議結果について
- ②2023 年度決算および監査報告について
- ③2024 年度運営委員会・作業部会（TF）・事務局の体制について
- ④2024 年度予算及び作業部会等の活動計画について
- ⑤JAIRO Cloud 共同運営本部設立及び関連規程について
- ⑥学協会著作権ポリシーデータベース（SCPJ）の改訂に関する広報について
- ⑦第 26 回図書館総合展展覧予定について
- ⑧オープンアクセス推進検討タスクフォース設置に関する申合せについて
- ⑨その他報告事項
 - ・ COAR Annual Conference 2025 の日本開催について
 - ・ JAIRO Cloud アップデートの時期について
 - ・ JPCOAR/JUSTICE による「オープンアクセス加速化事業の効率的な実質支援のための予備アンケート」について
 - ・ SPARC Japan へのセミナー企画メンバーの推薦について
 - ・ 大学図書館職員短期研修講師の推薦について
 - ・ COAR Annual Conference 2024 への派遣について
 - ・ 委員長代行の指名
 - ・ 会員参加状況について

(2) 第 26 回運営委員会 2024 年 10 月 17 日（水）

- ①オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会規程の一部改正について
- ②JPCOAR Community ML の見直しについて
- ③JAIRO Cloud 共同運営本部報告
- ④各作業部会・タスクフォース活動中間報告
- ⑤その他
 - ・ 図書館総合展について
 - ・ COAR Annual Conference 2025 について

⑥2024 年度 JPCOAR 予算執行状況

(3) 第 27 回運営委員会（予定） 2025 年 2 月 5 日（水）

- ①次期活動方針検討タスクフォースの設置について
- ②JPCOAR と NII の役割分担のドキュメントについて

③オープンアクセスリポジトリ推進協会会費規程第6条に係る申合せの
改正について

④2025年度予算(案)について

⑤総会の運営に関する変更について

⑥2024年度JPCOAR総会議事の確認

⑦2025年度オープンアクセスリポジトリ推進協会への活動支援について

⑧JAIRO Cloud共同運営本部報告

⑨各作業部会・TF活動報告

⑩2024年度JPCOAR予算執行状況

(4)2024年度総会 2025年3月14日(金)

ケ 日本図書館協会代議員総会(施設会員)報告【名古屋市立大学】

1 2024年度 第1回 日本図書館協会 代議員総会

日 時 : 2024年6月13日(木) 13:00~17:00

開場: 日本図書館協会会館2階研修室

※Web会議システム(Zoom)併用

場 所 : 東京都中央区新川 1-11-14

[議 題]

第1号議案 公益社団法人日本図書館協会定款の改正について

第2号議案 公益社団法人日本図書館協会代議員選挙規程の改正について

第3号議案 欠員及び補欠理事の推薦について

第4号議案 2023年度公益社団法人日本図書館協会決算並びに監査報告について

[報 告]

報告1 2023年度公益社団法人日本図書館協会事業報告について

報告2 全国図書館大会第110回長崎大会について

報告3 その他

2 2024年度 第2回 日本図書館協会 代議員総会

日 時 : 2025年3月13日(木) 13:00~17:00

開場: 日本図書館協会会館2階研修室

※Web会議システム(Zoom)併用

場 所 : 東京都中央区新川 1-11-14

[議 題]

第1号議案 公益社団法人日本図書館協会定款の改正について

第2号議案 公益社団法人日本図書館協会2025-2026年度の理事・監事選任に関する
基本方針及び選任方法等について

[報 告]

【報告事項】

- ・2023年度大学図書館部会事業報告及び経費収支報告について
- ・2024年度大学図書館部会事業計画及び予算調書について

【協議事項】

- ・2023-2024年度一般理事B候補者の推薦について

③部会委員会（メール会議）

期 間：2024年11月8日～11月29日

議 題：大学図書館部会2025年度事業計画及び予算調書について

④部会委員会（メール会議）

期 間：2025年2月20日～3月7日

議 題：2025年度大学図書館部会委員会委員（個人会員）候補者公募について

(2)事業

①第110回全国図書館大会長崎大会への協力

日 時：(対面) 2024年11月30日～12月1日

(オンライン) 2024年11月30日～12月28日

テーマ：「学生のための大学図書館へ！

～なんでも話そうチャンポン・ワークショップ～

長崎大学附属図書館が大学・短大・高専図書館の分科会を開催するため、大学図書館部会では同分科会への協力支援を行う予定であったが、担当館から支援を辞退する旨の申し出があり、今年度については支援を行わないこととした。

②2024年度大学図書館シンポジウム（大学図書館研究集会）

日 時：2024年12月10日

会 場：オンラインによる開催

テーマ：2030「デジタル・ライブラリー」の実現に向けた取り組み

運 営：国公立大学図書館協力委員会（シンポジウム企画・運営委員会）、大学図書館著作権検討委員会と共催

(3)その他

①大学図書館部会長、理事の交代（2024年8月1日付）

大学図書館部会長

退任：ローリー ゲイ（早稲田大学図書館長）

新任：西尾チヅル（筑波大学附属図書館長）

理事

退任：本木 正人（早稲田大学図書館事務部長）

新任：斎藤 未夏（筑波大学学術情報部長）

②2022-2025年度施設等代議員（第2区 大学図書館）

大隅 典子（東北大学附属図書館）

佐久間淳一（名古屋大学附属図書館）
永盛 克也（京都大学附属図書館）
湯川 泰（名古屋市立大学総合情報センター）
助川 哲也（明治学院大学図書館）
木村 友久（帝京大学メディアライブラリーセンター）
木村 秀明（中部大学附属三浦記念図書館）

3 地区協議会活動

ア 北海道・東北地区【山形県立米沢栄養大学】

○令和6年度公立大学協会図書館協議会北海道・東北地区館会議

日 時：令和6年10月1日（火）～10月11日（金）

場 所：書面会議

参加館数：19館

1. 協議事項：北海道・東北地区における役員選出ローテーション表の更新について
2. 承合事項：
 - (1) 2025年度以降の公的資金による研究成果の即時OA化義務化に向けて、対応していること、準備していること、検討していること
 - (2) 旧版図書等の除籍について
 - (3) エルゼビアの前払いトランザクションについて
 - (4) 防犯カメラの運用について
 - (5) 図書館の蔵書計画について

イ 関東・甲信越地区【千葉県立保健医療大学】

○令和6年度公立大学協会図書館協議会関東・甲信越地区協議会

日 時：令和6年10月30日（水）

開催方法：メール審議

1 協議事項

- (1) 令和8年度公立大学協会図書館協議会監事館について
- (2) 令和7－8年度大学図書館研究編集委員会担当館について

2 承合事項

- (1) 図書館で行っている、自己収益獲得に向けた取り組みについて
- (2) 和雑誌の購読について
- (3) 電子ジャーナル・データベースの利用促進について

ウ 東海・北陸地区【愛知県立芸術大学】

○令和6年度公立大学協会図書館協議会 東海・北陸地区会議

日時：2024年10月15日（火） 13時30分～14時30分

会場：MicrosoftTeamsによるWeb開催

加館数：17館

1 報告事項

今年度の事業進捗について（著作権検討委員会）

2 協議事項

東海・北陸地区の役員ローテーションについて

3 情報交換

- ①洋雑誌・DBの価格高騰、電子資料整備について
- ②オープンアクセスポリシー、データポリシーに関して
- ③新しい活動について

エ 近畿地区【奈良県立大学】

○令和6年度公立大学協会図書館協議会 近畿地区協議会総会

日 時：令和6年11月27日（水）15時～15時25分

開催方法：令和2年度以来の対面会議

参加館数：8館

協議事項

- ・令和7年度以降の役員館・役員体制について
- ・令和7年度近畿地区協議会事業計画（案）について
- ・近畿地区協議会会則の一部改正について

意見交換会、図書館見学（総会終了後）

オ 中国・四国地区【福山市立大学】

○第30回（令和6年度）公立大学協会図書館協議会中国四国地区協議会総会

日 時：2024年（令和6年）5月27日（月）～6月10日（月）

開催方法：書面審議・オンライン投票

参加館：16館（加盟館16館）

報告事項

- ・令和5年度事業報告及び令和5年度決算報告について
- ・令和5年度監査報告について

協議事項

- ・令和6年度会費について
- ・令和6年度事業計画（案）及び令和6年度予算（案）について
- ・地区協議会の当番表について

承合事項

- ・入館ゲートについて

○令和6年度公立大学協会図書館協議会中国四国地区協議会研修会

日 時：2024年（令和6年）9月3日（火）13:00～16:00

場 所：福山市立大学 小松安弘記念館 教育研究棟2階ラーニングcommons B

テ ー マ：大学図書館におけるレファレンスサービス

講 師：小林昌樹氏（近代出版研究所所長、元国立国会図書館職員）

参加者数：21人（11大学）

カ 九州地区【宮崎県立看護大学】

○令和6年度 第75回九州地区大学図書館協議会 公立大学部会

日 時：令和6年4月17日（水）～4月26日（金）

開催方法：メール審議

当番大学：沖縄県立看護大学・沖縄県立芸術大学

参加館：15館（欠席館なし）

内 容：

協議題（なし）

承合事項

- ・カビ対策について（九州歯科大学）
- ・視聴覚資料のCD/DVDの、利用状況や視聴覚数を増やす工夫などについて（福岡県立大学）
- ・大学図書館業務従事者の人材の確保と育成について（沖縄県立看護大学）

時期当番館等選出

令和6年度役員館、令和7年度部会当番館等の選出については、各館より承認の可否について回答書の提出を行った。

4 職員研修

I 大学図書館職員短期研修について

主催機関：京都大学総合図書館

日時：2024年10月22日（火）～10月25日（金）

会場：京都大学総合図書館

〈2024年度大学図書館職員短期研修カリキュラム〉

日程	時間	研修内容など
10/22 (火)	9:30～9:45	開講式
	9:45～11:00	大学図書館の現状と課題 杉田 茂樹（京都大学附属図書館事務部長）
	11:15～12:30	大学図書館における資料保存 小島 浩之（東京大学経済学部資料室講師）
	13:30～16:20	効果的なグループワークのデザインとファシリテーション 中西 勝彦（京都文教大学総合社会学部助教）
	16:30～17:15	海外研修経験から見た大学図書館（とその周辺） 花崎 佳代子（神戸大学附属図書館情報管理課電子情報グループ情報システム担当専門職）
	10/23 (水)	9:30～10:45
11:10～12:15		電子コンテンツ導入・提供の現状と課題 藤井 潤二（立命館大学学術情報部図書館学術情報課 課長補佐）
13:15～14:05		京都大学附属図書館見学
14:20～15:35		学術コミュニケーションの動向 尾城 友視（東京大学附属図書館情報管理課主任）
15:45～17:30		グループ討議
10/24 (木)	9:30～10:45	情報リテラシー教育支援の現状 狩集 愛香（鹿児島大学情報推進部情報企画課情報戦略室情報戦略係）
	11:00～12:15	大学図書館職員のスキルアップ法 中村 健（大阪公立大学学術情報課課長代理）
	13:15～14:30	図書館公衆送信サービスの開始と今後の展望 阪野 康弘（愛知県立大学学術情報部学術情報課長）
	14:45～	グループ討議
	10/25	9:30～
10:45～		国立情報学研究所の学術コンテンツ事業紹介

(金)	11:30	吉田 早苗 (国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長)
	11:45 ~	グループ討議・成果報告①
	13:20 ~	グループ討議・成果報告②
	14:30 ~ 15:15	グループ討議の講評・講評者との意見交換 赤澤 久弥 (京都大学附属図書館利用支援課長) 吉田 幸苗 (国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長)
	15:30 ~ 17:00	グループ討議・成果報告の振り返り
	17:00 ~	閉講式

II. 2024 年度大学図書館職員短期研修参加報告

(1) 札幌医科大学附属総合情報センター 金谷直樹

●概要

11名の講師による講義と、グループディスカッションおよび発表の構成による研修会であった。参加者は、京都会場という立地もあり、西日本の大学が多く参加していたが、北海道から沖縄まで全国各地の図書館員が参加した。さらに、図書館員のバックグラウンドも多岐にわたり、国立、公立、私立大学の括りにとどまらず、「大規模大学から小規模大学」、「研究に重きを置く大学もあれば、教育に重きを置く大学」、「図書館専任の職員と人事異動が多く図書館以外の仕事もする職員」、「他職種や複数の大学での勤務経験を有する職員」など非常に多様性に富んでいた。普段の自大学の環境では接することのできない貴重な機会であった。

●講義

講義は大学図書館を取り巻く概論から具体的な業務まで幅広く知識を享受できる内容であった。

特に、京都大学附属図書館事務部長の杉田氏の講義では、「正規雇用の図書館員が年々減少している」、「正規と非正規の人数を足しても図書館員は減少傾向である。」といった、いままです漠然と感じていたことを実数値に基づいて解説していただいた。加えて、「今後の図書館員の業務は、研究のスタートからゴールまで支援すること」と更なる専門性の高度化の必要性を論じていただいた。短期研修の最初の講義で、自身が置かれる立場や求められる能力について改めて実感できてよかった。

●グループディスカッション

事前課題に基づいて、9つのグループに分けられた。初日からグループ活動があり、最終日にグループで議論したことを発表するという流れであった。しかし、初対面のメンバーであること、限られた時間内で議論と発表資料の作成を行うことに加えて、発表時間の10分間を厳守することが求められた。コミュニケーション能力はもちろん、議論をまとめ、資料に落とし込む能力や時間管理の能力まで様々な技能の訓練となった。

●まとめ

冒頭でも申し上げたが、今回の短期研修で普段出会うことのできない多様な図書館員と交友を深めることができた。研修の合間などで、お互いの図書館の状況について生の意見を交わすことはなかなかできない経験である。研修後には、自主的に参加者間による SNS の設立やメーリングリスト作成が行われ、今回の研修だけの関係に終わらず、恒久的に連携していける関係となれたことは何よりの財産となったと思う。これからも図書館員の人脈を広げ、多くの情報、学びを自身の図書館に還元していくことに努めたい。

最後に、貴重な研修の機会にご支援いただいた公立大学協会図書館協議会に深く感謝を申し上げるとともに、本研修を主催していただいた京都大学附属図書館、東京大学附属図書館、国立情報学研究所の皆様から感謝を申し上げます。そして、1週間に渡る研修に快く送り出してくれた職場の上司と同僚に感謝の意を表し、自らも後輩を快く送り出す立場を目指して日々研鑽を積んでいきたい。

(2) 北九州市立大学図書館 情報化推進課 國分捺羽

2024年10月22日から10月25日までの4日間、京都大学附属図書館で開催された、大学図書館職員短期研修に参加した。本研修の目的は、「大学図書館等の活動を活性化するため、大学図書館等の職員が、今後の図書館の企画・活動を担う要員となる上で必要な、図書館業務の基礎知識・最新知識を修得する。」ことと掲げられており、到達目標は「国内外の大学図書館等における最新の動向や事例を学び、図書館業務の推進および改善について、主体的に考えることができるようになる。」とされている。計11コマの講義を受講した他、事前課題を基にしたグループ討議とその成果発表を行った。この報告では、様々な講習の中で特に印象に残った講義とグループ討議について紹介したい。

「電子コンテンツ導入・提供の現状と課題」では電子的な情報検索が一般化し、「誰でもユビキタス」の時代となっているが、分からないことをすぐに諦める傾向もあり、動画検索など簡便な手法が選ばれることが多くなっていることが現在の利用者像として挙げられた。電子コンテンツは「データベース」「電子書籍」「電子ジャーナル」に分けられ、それぞれに課題がある。データベースは体系的に整理され、効率的な情報収集が可能だが、利用者が内容の違いを理解しやすくする工夫が求められる。電子書籍はコロナ禍以降利用が増えたが、アクセス制限や電子化されていない書籍があることへの認識が薄いため、誤解が生じる場合がある。また、支払い形態が複数あり、運用が複雑化しやすい。電子ジャーナルは海外でデジタル化が進んでおり、日本でもオープンアクセス化が推進されているが、契約内容が複雑で管理が難しく、為替変動や出版社寡占によるコスト増が課題となっている。利用者ニーズと図書館の利便性を考慮した運用が必要とされ、契約条件の理解や利便性向上のための工夫が重要であることを学んだ。

「図書館等公衆送信サービスの概要」では冒頭に、受講者42名へ対しアンケートを実施し、特定図書館の登録に向けた準備を進める大学は少数で、今後登録する予定の大学も多くはな

いことを知った。講義内容自体は上司から職員間へ共有される連絡事項により把握していることが多かったが、一般社団法人図書館等公衆送信補償金管理協会（SARLIB）のサービス開始が2025年1月に延期されたことが説明されたことを学んだ。他大学の受講者へRapid ILLを通じて取り寄せた資料の電子送信について運用方法を尋ねた際に出版社の許可があれば可能ではないかとの意見も出されたが、本講義内で、実際には公衆送信サービスの範囲には現時点で含まれないことが確認されたことに本学の運用方法が適していたことに安堵することもできた。実際に特定図書館での運用が開始されたとき、利用者にとって公衆送信サービスは利便性向上につながるものの、出版社側との調整や交渉が必要であり、図書館としては今後も利用者の利便性と出版社とのバランスを意識して対応することが求められるため、図書館職員として動向を見守る必要があると改めて認識した。

グループ討議では「これからの大学図書館における利用者へのアプローチを考える：DXを中心に」というテーマに基づき、自身の事業案について意見交換を行い、他大学の事例や課題についても学ぶことができた。その中で、本学図書館の案を基にして「図書館内セルフツアー」と題し、短い動画を各コーナーの案内としてQRコード化、見学モデルコースを構築し、これらをWEBマップにリンクさせることで、利用者が効果的に館内を巡れる仕組みを発表した。しかし講評では視覚障害者などのマイノリティへの配慮が不足しているとの指摘があり、マジョリティとマイノリティの双方を意識したアプローチ方法が必要だと痛感した。今後の取り組みにおいては多様な利用者に対応できる方法を模索していきたい。

最後に、この研修は国・公・私立の様々な職員が集い、各々の立場から多様な意見や経験を共有できる貴重な場となった。講習内容に加え、自館が抱える課題を他館の取り組みや現状と照らし合わせることができたことで、現状を新たな視点で捉えるきっかけが得られた。また、グループ討議を通じて、環境や立場が異なる様々な意見を集約することの難しさを学び、自分一人では考えつかなかったアイデアや視点を取り入れることができた。今回の研修を通して、自分だけでは知り得ない内容を多く学ぶことができたことに深く感謝したい。研修の機会を与えてくださった公立大学協会図書館協議会並びに主催の京都大学附属図書館、東京大学附属図書館、国立情報学研究所に感謝の意を表するとともに、職場の仲間にも感謝し、得た知識を共有し職場全体の成長に貢献していきたい。